



# 校長だより

ざまたん  
座間小キャラクター

座間市立座間小学校（電話 251-0009）  
校長 大谷 一

コロナウイルスが5類相当になり対策も緩やかに移行していますが、学校ではコロナウイルスだけでなく、インフルエンザウイルスなどの感染症も流行していて、不安定な状況がまた起こり始めています。インフルエンザといえば寒い時期流行するものだという概念も大きく揺らいでいます。感染症の予防にはこまめな手洗いやうがいなど地道な取組が有効ですので、引き続き注意していただきたいと思います。



5年生遠足 岡本太郎美術館



ミシン指導のボランティア

## 違いをみとめ多様性を尊重する

座間小学校には、日本以外の国につながるの児童が多く通っています。これからの社会を担う児童が人生の早い段階から、様々な国のことを身近に感じたり、国際社会に関心をもったりするようになるので、とても恵まれた良い環境であると考えています。異なる文化や習慣に触れそれを理解することが、違いをみとめ多様性を尊重する姿勢につながるという点からも貴重だと考えています。座間小学校の児童には、異なる文化や人たちとともによりよく社会を生きるということの大切さを小学校時代に身に付けて欲しいと思います。

それは国の違いだけではありません。みんな一人ひとり違いがあってその違いが多岐にわたる選択肢や社会の豊かさをもたらしています。学校だけでなく、保護者のみなさまにもご協力いただき、ご自分のお子さんに分かりやすくお話して欲しいと思います。

## 読書の秋

秋は勉強・スポーツ・芸術・食欲の秋といい、何かを始めるにはとても良い時期です。座間小学校の児童にはぜひ読書の秋にして欲しいと思います。学校の図書室にはたくさん本があります。何を読むか悩んだ時には司書の佐々木先生が相談にのってくれます。まずは自分の好きなことや関心のあることに関する本を読み、少しずつ自分の見識を広めて欲しいと思います。全ての学力の基盤となる国語の力は、読書を重ねることで向上していきます。中学生になると定期テストがありますが、国語のテスト対策に何をすればいいのか悩む中学生がとても多いです。国語のテスト対策は急に身に付けるというよりも日頃の読書や書くことで養われるので、ぜひ小学生のうちから読書を好きになって欲しいと思います。